

KSKQ オリーブだより

2023年度
第3号



みなさん急な季節の変化、いかがお過ごしですか。桜はつぼみをつけていたり、つくしが顔を出したりと、一歩外に出ると春の訪れを感じますね。オリーブは通常運転です。

この一年をふりかえって (コロナ禍と新たな「はじまり」のこと)

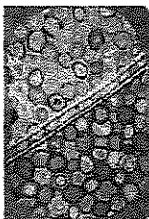
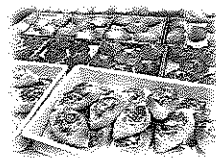
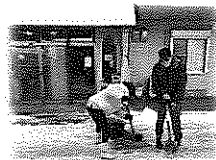
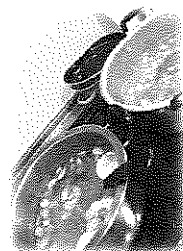
例年そうですが、今年度も多くの方々との出会いに恵まれ、また皆さんの秘められた力に助けられた一年間だったなあと、そう思います。メンバーさん達、新しいスタッフやアルバイトの皆さん、実習生、関係機関の方々、販売先で出会った方々…。

コロナ禍の中でステイしていた活動が、徐々に再開され、地域の方々との連携やコミュニケーションも、新しい価値観を伴って再び芽吹き始めています。私たちは以前の通りには戻りすることはできないけれど、あらためて考え、話し合い、新しい活動として再開することはできると思います。またそのことが大切だと思います。

年末にコロナが再度流行し、今更ながらオリーブのスタッフやメンバーさんも複数人罹患しました。私もダウンしたのですが、その際も何とかして休所せずに開所し続けようと思ったスタッフが力を合わせている様子を見てとても救われましたし、慌てず騒がず、思いやりをもって日々を過ごされていたメンバーの皆さんの姿にはとても大きな優しさや成長を感じました。

「誰だっとなるかもしね…」と鷹揚に状況を見守るご様子は長いコロナ禍がもたらした心の余裕や対応力、思いやりが繋がっているのも、これも事実だと思います。オリーブはそういう心の成長の場でありたいと、あらためて思いました。

オリーブの皆さんと、この地域の人々が尊重し合い、理解し合い、認め合いながら、様々な価値観を共有したり、作り上げていける事がすてきなだと思います。前向きに時間をかけてじっくりと、育てていきたいですね。コロナ禍を経て、新たな「はじまり」に出会えるように！(正岡)



オリーブの日常

オリーブのある通りは、以前はちょっとした商店街でした。作業場のお隣は、最近まで散髪屋さんで、その横は今でもクリーニング店。反対のトナリが前は美容室で、続いてタバコ屋さん。通りをはさんでオリーブのお店と事務所のあるタテモノは、かつてペット用品の店で、そのあと洋菓子店でした。

その隣は洋服のボタンの問屋さんでしたが、今はオリーブの休憩所になりました。

作業所じたい「オリーブの会」を作ってくれた方が文具店をしていた所で、今でも万引き防止のミラー(!)が部屋の角っこに残ります。そこが作業所になり、事務所だったので。

一時は交流サロンを兼用して狭かったのを思い出すと、私も長くここに居るな～と感じます。



西醍醐寺でのこと

オリーブには施設外就労として醍醐寺での清掃のお仕事があります。春や秋は随分と観光客の方も戻ってきて、その時期は忙しいながらも綺麗な景色の中で作業をしています。

醍醐寺でのすごしかた

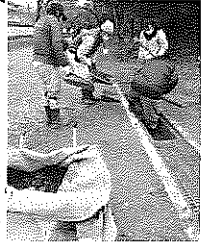
朝8時頃にやってくる、着替えてから、お湯を沸かす準備をして、ゆっくりとフリーペーパー等を読むのが、大体の日課です。作業は9時から(朝礼は8時50分から始まるので)できるだけ時間に余裕を持って、準備などを行おうと心掛けています。他のメンバーさんも朝ごはんを食べたり、腹筋マシンで身体を鍛えたりと、それぞれに朝の時間を過ごされています。

一日で一番、自分達の時間が持てる貴重なひとときだと思います。(R)

営繕の作業

冬の季節に入り今年一番の大寒波に見舞われました。その日はお休みでしたが、次の日行くと雪が積もって大変でした。

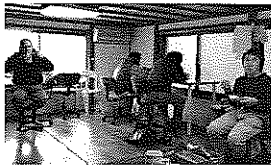
普段は落ち葉、松葉、杉拾いをして落ち着いて来たら除草など綺麗に醍醐寺を保っています。これからも誇りを持って作業して行きたいです！(福井)



トイレの作業

醍醐寺は駐車場から参道につづく石畳と東西徒歩10分の参道の他に、南北徒歩10分の地道があり、その各所に8棟の仮設を含むトイレがあり、週3日清掃を行っています。

観光シーズンの桜と紅葉の時期は特に多くの来場者で賑わっています。



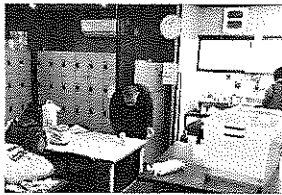
オリーブの日常

年末年始は、大掃除から始まり、忘年会、新年会の行事があります。大掃除では車やソファカバー、ぬいぐるみまで洗います。

忘年会は手作りおでんに天ぷら、加工のデザートと満腹な中、歌やビンゴゲームをしました。

新年会では、初詣に平安神宮へ。庭園の散策した後は、何年前から定番化している「織居部神社(オリーブにあります?)」の手づくりおみくじ引きです。平安神宮で目立たないように、手づくり感満載なおみくじですが、引いて読む時はわくわくします。お昼はお寿司に雑煮。いつもより時間がゆっくり流れていました。誰かと年末年始を感じられるっていいなあ。

忘年会では一年の振り返り、新年会では一年の抱負をそれぞれに述べました。めまぐるしく過ぎて行く期間ですが、なんだかしっくりくるものです。



大掃除。作業場綺麗にしています



ビンゴ。当たったものを見せるのが恒例



織居部(オリーブ)おみくじ!

忘年会の感想

忘年会はいっしょに食事ができ楽しかった。ビンゴで傘が当たったのはうれしかったけど、小さかったのであとでファミマで傘を買いました。(高須)

おすすめオリーブパン



- ・火田のピザ (オリーブ園の野菜とピザ)
- ・くるみ塩バター
- ・ほろけっカスタード

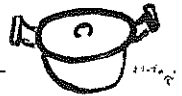
加工では畑で採れた野菜で、みんながお昼に食べるお漬物を作っています。冬は大根、夏は赤いピーマンも! お昼にあるとないでは随分と違います。お昼時になると、漬け物を小分けにして食堂に持っていくのが日課です。

ホームページが新しくなりました

新しいホームページを見た方から「オリーブらしい」という感想を頂くことができました。「らしい」という言葉ってなんだか嬉しいです。このホームページを製作して下さったのは「ムスビデザイン」の木谷さんご夫婦。長年オリーブと関わりを持って下さっています。

オリーブにも何度か来てくれていて、一日を通して取材する中で、感じたことやオリーブの様子を文章や写真で伝えて下さっています。1年ほどの年月をかけてお話を重ねる中で、表現して伝えることの難しさを感じました。この表現は誰かを傷つけることになるかもしれないな。だからってそこを無くすことでいいのか。大切に伝えたいことってなんだろう。木谷さんとお話を交わすその度に原点に戻るような感覚でした。これからも少しずつホームページが更新されていく予定です。

またご覧くださいね。



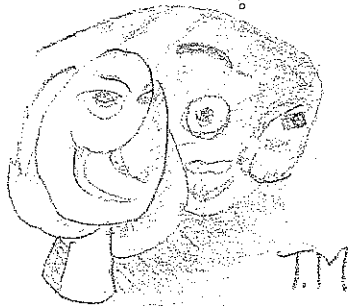
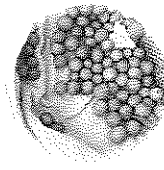
ちよとぼとコーナー 絵・俳句・ダジャレ・詩など思い思いに投稿してくれました。

◎苦しいことがある、かなしい事がある
その中で前を向く
うしろを向いても何もならないから
前を向いて幸せさがそう
そういう美しい人になりたい
笑うかどには福きたる
そういうことなのかな？
笑って生きよう

☆鶏肉を取りに行く。

ラジオで、 24時間放送
92.4 FM 送ります
AM
1422. 1413. 1431
と東京放送して
再放送や、 何百回とや

●きんかんを
るまんで飲んで
幸せだ
(FUJITA)



♡バレンタインデーに
好きな人にチョコは
渡せなかったけど
五目ちらしを食べてもらえて
「とっても美味しい！」と言われた
最高に幸せでした
次はもっと美味しく作ろう

◆あんな悪い店があった
あんな店つぶしてやる
みせしめや
(高須さんのダジャレ)

★一つ目のほっこりは、最近米屋さんを変えてみたんです。で、今4種類の米を食べ比べて「今日は何の米だっ」て楽しく食べてます。どれもめっちゃ美味しい!!
二つ目のほっこりは、一年前からコーヒー屋さんに通っているんですが、この間カゼを引いてしまった時、ふとコーヒーを家で飲んだらカゼが治まったような気がしてほっこりしました。

出店販売

・12月18日(日)
オーガニックマーケット・しが
・1月27日(金)
フエイトレードマーケット
に出店しました。定期的に参加
させて頂いたとき、徐々にお客さ
んに知ってもらい声をかけていた
だくこともあり、続けていくって
大切ななあと思っております。
ほちほちとですが、来年度も
出店していきますので、どうぞ
のぞきにきてください。

ネパール支援の
皆さんも大根の
販売を手伝って
下さいました



三井寺の出店の感想
自分は、独特な雰囲気が好き
で、販売に行っています。よつ葉
さんのカレーパンとか、自然な
店とか、大鼓とか、人と人が
ふれあえる感じが好きです。
日時が合えばまた出店に行き
たいです。(Y.S)

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1, 2, 3, 5, 6, 8の日)発行

理事長のひとこと

「中間の喪失」

京都新聞の年始の企画で「日本人の忘れもの 知恵会議 未来を拓く京都の集い」というものがあり、その中で心理学者の河合敏雄先生が、次のような文章を書かれていました。「オンラインは本当にわれわれの心を豊かにしてくれるのだろうか、電車に乗り、時間をかけてセラピーに通うことは大変で、お金もかかるが、その道中に面接で話すことを考え、帰りの時間で振り返って消化することができる。また、道中で思わぬ体験や発見があるかもしれない。(中略) 一見無駄に見える中間こそ、われわれの生活や心を豊かにするかもしれないのである。」便利さを追求し、合理性や効率性を重視すると、一見とても良くなったように思えます。そして何かすっきりしたようにも思えます。しかし、時間は流れ、人や環境は必ず変化するし、それにそぐわないものが出てきます。一旦追求したその便利さ故に、そこからの逸脱を許せず、こうあるべきだのジャッジがあらゆるところで行われ、そうなると思っていたもの自分の首が絞めつけられるようになるのではないかと思います。ある精神科医が、アナログの時代は前後があったが、デジタルの時代は丁度しかないと話していたように、すっきりした感覚はある種の寛容性を奪ってしまいます。それが、視覚化できる数値目標や様々なルールに現れている気がします。なんかわからんけど、それでいいんちゃうが通じない。

多くの人が集まる場所には、多くの意見が存在します。何かの意見を採用することは、違った意見を採用しないことです。そして、その背景に便利さや合理性の追求があると考えると、ぞっとします。そうでないものがそこに存在できなくなるので。一見よくわからないし、無駄に思えるものが、実は大切な役割を果たしてくれており、その場を文字通り豊かにしてくれています。そんな考え方もあるのかそんな風にもものを見てるのか、そう思えたら楽だよな等等。河合先生の言葉を借りるなら、その「中間の喪失」が現在あらゆる場面で起こっているように思います。なので、少なくとも私は出来るだけなんかわからんけど、それでいいんちゃうの世界を大切にしたいと思っています。それがまわりまわって、私を、隣の人を豊かで寛容にしてくれ、誰もが生きやすい社会を作ってくれるのだと信じて。

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1. 2. 3. 5. 6. 8の日)発行

**着物・糸の
寄付のお願い**
オリーブでは寄付で頂いた着物や糸で、いろいろな製品を作っています。頂いたものが形を変えて、誰かの元へ届くよう、大切に使用させていただきます。

編集後記

- ・スタッフさんの頑張りには本当に感謝です。
- ・夕方に始まる編集会議。参加するのは、私にとって大変でしたが、それだけの価値ある時間でした。(える)
- ・今号では、第2回編集会議時点で拾える限りの誤字・脱字は指摘できたはずですが。あとはもう一回見直しできないのがつらいところではありますが、そこはヨロシク(^.^)v (E17)
- ・だいぶんあたたかい日が増えて来たので、うれしく思っています。もうじき桜が咲き心がうきうきしています。人の温かさを感じています。感謝感謝な気持ちで笑顔溢れる毎日を送っていきます。ありがとうございます。(Y.K)
- ・音楽を聴きながら自転車に乗ることを一旦やめてみました。耳から季節を感じれるような気がして心地良かったです。(はま)

オリーブだより 2023年3月編集
 発行人
 関西障害者定期刊行物協会
 大阪市天王寺区真田山町2-2
 東興ビル4階
 編集人
 オリーブホットハウス
 社会福祉法人 オリーブの会
 京都市山科区東野中井ノ上町3-33
 TEL : 075-591-4669
 FAX : 075-591-4679
 ホームページ <http://olive-net.info/>
 フェイスブック
<https://www.facebook.com/olivehothouse/>
 メールアドレス
 olive-cw@rio.odn.ne.jp
 定価 50円

いつもありがとうございます。
 河村京豆腐店様、今枝文字様、岩村チエ子様、佐藤純様、大久保様、村上様、奥田様、新庄様、井上様、三好様、仁保千晶様、河原満寿美様、谷直介様、三代一様、枝様、わの会様、駒澤真由美様、原悦子様、松里園ふれあいの会様、木谷真人様、木谷恵様、(株)大曜様、京都奉製(株)様、大井啓吾様、ダイゴ様、京都ほっとはあとセンター様、認知症予防ネット様、總本山醍醐寺様、春日丘センター様、おやおの里様、洛和会へルスケアシステム様、関西よつ葉連絡会様、(株)よつ葉ホームデリバリ東京滋様、竹之内運送(株)様、食まちアグリゲーション様、無印良品京都山科店様、里地会クリニク様、京都市やまの学園様、京都市文化市民局市民スポーツ振興室様、(株)ヤマシナ様、おもてなし処阿吽様、賃貸ショップアブリと様、オーガニックマーケットしが実行委員会様、国際交流の会となか様、ケリアンドアイ様、合同会社うみのな商店様、日本レコード協会の(株)朱常分店様、へいあん後見福祉ネットワーカー様、京都市ごみ減量推進協議会様、大宅学区社会福祉協議会様、山科区社会福祉協議会様、大宅学区民生児童委員会協議会様、山科区役所保健福祉センター様、安朱学区社会福祉協議会様(令四年十二月〜令五年三月順不同)